

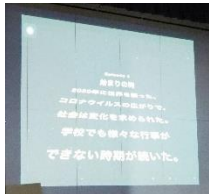


# 御学校だより

2024年11月6日  
藤沢市立御所見中学校  
校長 山田 大

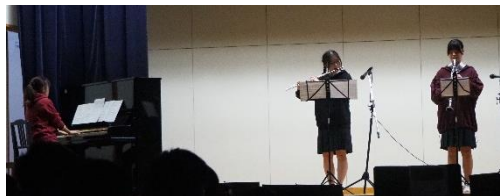
## 文化祭ステージ発表 ～個性あふれるパフォーマンスと会場の一体感～

10月24日(木)の5,6校時に文化祭ステージ発表が行われました。これは今年度から行われる全く新しい行事です。コロナ禍により、展示のみで行われていた文化祭。そこから、みんなが楽しめるよりよい行事を模索して、文化祭実行委員会と担当の森先生がゼロから創りあげてくれました。



当日は、「スターウォーズ」のオープニングをオマージュしたビデオから始まりましたが、この時点で会場は大変な盛り上がりで、「ウォー！ヒュー！イエーイ！」などの歓声が上がり、ビデオのクオリティーの高さに大きな拍手が沸き起こります。

この盛り上がりは、イベントの最後まで続き、出演者のパフォーマンスの素晴らしさと相まって、会場全体を熱気と温かさにあふれる一体感で包み込んでいました。いままで数多くの学校行事を見てきましたが、これほどまでに雰囲気の良いものを見たことがありません。ものすごく感動しました。来賓でいらしたPTA本部役員、学校運営協議会委員、御所見地区ふれあい共有ネットワークのみなさんも、ロ々に「素晴らしい」と絶賛されていました。



パフォーマンスのトップバッターは1年生のダンスの授業から「サザエさん」のお面をつけたコミカルなダンスでスタート、続いて1年女子ペアのキレッキレのダンス、2年女子2名と山名先生のユニットによる歌、3年女子4人組の大人っぽく、衣装で雰囲気をガラリと変えた完成度の高いダンス、3年女子のフルート&クラリネット+岩本先生のピアノによるしっとりした演奏、科学部による普段なかなか見られない「科学ショー」、野球部員によるちょっとシュールなYouTubeのパロディー、2年女子2人によるオリジナルソング&ピアノ演奏、1年女子3人組によるストリート系のクールなダンス、旧生徒会本部役員と担当先生によるチームワーク抜群の歌&バンド&ダンス、吹奏楽部のコンクールでも披露した壮大なスケールを感じる演奏、それぞれ個性にあふれ真剣に、そして躍動し、思いっきりの笑顔で楽しませてくださいました。

未知の世界に挑んだ、クリエイティブな文化祭ステージ発表は大成功で終わりました。来年は更にパワーアップすることを期待しています。



## 文化祭実行委員の活躍～創造する素晴らしさ、人を楽しませることは未来を拓く～

「2011年度にアメリカの小学校に入学した子供たちの65%は、大学卒業時に今は存在していない職業に就くだろう」（ニューヨーク市立大学教授 キャシー・デビッドソン氏）

「日本の労働人口の49%が人工知能やロボット等で代替可能に」。野村総合研究所(NRI)が英オックスフォード大学との共同研究で、こんなリポートを発表したのは2015年。

前期終業式と後期始業式の校長の話と前回の学校だよりでは『先生の言うことばかり聞いてはだめだよ』というテーマで主体性の大切さを伝えました。上に書いてあるように時代は急速に劇的に変化しています。自ら考え、多様な人と協同して新たな価値を創造することが求められています。

そんな現代にあって、この先もなくなるものの一つが「エンターテインメント」だと思います。人々を楽しませるために、思考し、ゼロから創造し、パフォーマンス（技能）を磨き上げ、自らも楽しんでステージで発表（発信）する。『自分も人も大切に』するこの行為は、職業として今後も存在し続け、未来を拓くと言えるでしょう。

文化祭ステージ発表は出演者と観客の一体感が素晴らしかったと書きましたが、成功の陰には『文化祭実行委員』の運営が大きく影響しています。司会・進行、音響、大道具、映像制作、スケジュール管理など実に様々な「仕事」を担い、普段の授業では味わえない興奮・熱狂・一体感を私たちに届けてくれました。この経験は将来に必ず生きると思います。

2016年度に小学校に入学した御所見中の三年生は、どんな職業に就いて、どのように働いているのでしょうか？

### 【市内音楽会 10月17日（木）】



### 【PTA&職員 みそ造り 10月22日（火）】



### 【御所見（公民館）文化祭 10月26日（土） 家庭科部・吹奏楽部】

